

活動名：第3回齋藤医院杯小野町フットサル大会 U-10 の部

日程：平成28年2月13日（土）～14日（日）

会場：小野町営体育館

参加：E4クラス 11名

帯同：設楽コーチ

対戦相手：

予選リーグ

VS 守山 SSS ●

VS 小野 B ○

VS リガーズ FC ●

リーグ（3位）

（3位の1位）により2位リーグ進出

VS プロGRESS（船引）○

VS 富田東 SSS ○

VS 小野 A ○

結果：5位（12チーム中）

報告：設楽コーチ

この大会は、仲良くさせていただいております「小野 FC さん」から毎年招待を受け、U-12（6年生以下）と U-10（4年生以下）の2チームで参加させていただいております。小野 FC さんは私たちの「FC アーレ理念・・・チームの勝ち負けではなく、サッカーを楽しむことができる活動や個々の技術の向上を目的に活動しているクラブであること等」に共感していただいております。そこで、毎年、アーレの選手たちと小野 FC さんの選手たちと試合を通して触れ合う交流の機会として、初夏の「NAC カップ」と冬のこの大会に招待していただいております。大会中は指導者懇親会もあり、選手、指導者ともに毎年楽しみにさせていただいております。

アーレとしても、毎年的一大イベントとしており、6年生以下と4年生以下の大きな大会として位置づけしております。

さて、U-10の部に出場した E4クラスですが、喜多方大会は選抜であったため、少しでも大会を経験してほしいと全員を募ったところ「11名の参加者」となり、大所帯で出場しました。

そのため、試合は10分間の前後半で短く、5人制のフットサルであったことから10名を超す参加人数ですと、1試合で個々に出場する時間は少なく、また試合ごとにメンバーを決めて挑むと対戦相手と試合ができない子どもたちも出てしまうため、メンバー構成は本当に悩みます。そのようなことから1日3試合ありましたが、子どもたちは物足りなさが出てしまい、チームの試合結果を気にするよりも試合に多く出場したか

った思いが大きかったような気がします。しかし、少しでも平等に試合に出場できるように調整し、なおかつチームとして勝利の結果が出るようなメンバー構成を考えながら一試合一試合に挑んでもらいました。

小学生のフットサルはスペースが無いコートで行うため、一対一のチャレンジや個々の技術が必要となります。そのため、そのため自分の技術が通用するかがはっきりと感
じることができる競技です。

参加した子どもたちは、今回の大会で何が通用して何が通用しなかったのか？をしっ
かり感じる事ができたと思います。それぞれにどう感じたのでしょうか・・・。

新しい目標ができたことと思います。

E4クラスのこの二日間を通して私が感じたことは以下のようなことでした。

- 毎年のクラスメンバーでは、技術が突出した子がいるとその子に頼るようなプレー
をしてしまいがちですが、このクラスは平均的な個々の技術をもっている子たちだ
と感じ、それぞれが誰かに頼るようなプレーはしなく、自分をアピールする果敢な
プレーを見ることができ今後は楽しみだと思いました。
- 初戦では、「自分が、自分が」といった気持ちが強く、フリーの選手へボールを渡
すことができず、相手に囲まれてもドリブルをして厳しい状況が多々見られました。
しかし、試合を一戦一戦重ねるにつれて、自分に自信が出てきたのか、相手との駆
け引きができるようになり、相手からボールを奪う気持ちや仲間との連携（パス交
換やポジションチェンジなど）を行うプレーができるようになってきました。
- シュートチャンスは多かったのですが、ボールをしっかりと強く思ったところに蹴
ることができる子が少なく思えました。シュートを決めることができるようにな
ると、もっとサッカーが楽しくなるので、日々の練習で指導していきたいと思いま
した。
- 6年生や中学生の試合を身近に見ることができる最高の機会でしたが、その試合を
本気で見ている子が少なかったので残念でした。時間も長くあったので、他の試合
を見ることは、良いプレーや悪いプレーを客観的に見て感じる事ができ、大事な
勉強の場でしたが、まだ、自分の試合のことだけしか考えていないので、今後の指
導の中で気持ちを変えていければと思いました。
- 大会に参加すると試合の合間が長く、試合後にまた試合の気持ちを作る事が大変
です。そのようなことから子どもたちには大会の気持ちを持続させたいのですが、
遠足的な気分になっている子が多く、試合と試合の合間には「おやつタイム？」や
「仲間との喧嘩？」など、また「自分の備品の保管方法」など6年生の最上級生に
なるまでには、大会に挑む気持ちや姿勢を伝えていければと思いました。

これらは一部の感想ですが、良いところも悪いところもありますが、やはり一人ひとりが試合に出場すると逞しいプレーを見せてくれて、見ている人たちに感動を与えてくれることは大変嬉しく思います。

これからこの子たちの年代は「ゴールデンエイジ」に入ってきます。教わったことを即座に習得でき、日々成長を感じる一生に一度の貴重な時期になります。どれだけ練習してボールに触り、日々目標をもって過ごすことができるかで、今後のサッカー人生が変わってきます。本当に成長が楽しみです。保護者の方々も努力を惜しまずにチャレンジする気持ちを応援し、アーレの活動に多く参加できるようにご協力をお願いいたします。卒団生や上級生たちのような成長が見られる時期がもうすぐです。6年生の試合では、はっきりと成長が感じられることでしょう。今回の大会でビデオを撮っていた方は比較するとはっきりとわかりますので、その時に比べてみるとびっくりしますよ。

保護者の方々は二日間、送迎と温かい応援をいただき有難うございました。

また、応援に来ていただいた5、6年生やその保護者の方々、また退団したにもかかわらず仲間のために応援に来てくれた「けいしょう君」には、参加した子どもたちも嬉しく感じたことでしょう。有難うございました。

最後に、小野FCの大会関係者の方々には、ご招待をいただき本当に有難うございました。子どもたちの最高の思い出の機会となり成長することができました。そして、フェアプレーで対戦していただいた他チームの方々にも感謝いたします。

六年生大会でまた試合をさせていただき、お互いに成長した姿をみることであれば指導者として嬉しい限りです。

コーチ：設楽



